

販売後のフォロー大切に

ニューレジストン社長 山内憲司氏



昨年度は景況回復への期待感に実態が伴わないまま過ぎてしまい、終わってみればほぼ横ばいに落ち着いた。今年度に入ってから、消耗材の動きは

鈍い状況が続いている。それでも国内の景況が全般的には前向きになってきているように見える。時には、通常の五輪需要などによる景況の活性化に期待したい。

当社は以前より、ユーザーを訪問して製品の使用方法や使い勝手を、要望などを聞かせ、提案してもらっている。これ

取りまで各種金属加工に利用できる「超硬パ」も当社独自の製品だ。業界に先駆けて発売したミニシリーズや超硬バーのように、ユーザー目線でニーズに対応する砥石のミニシリーズは、潜在的な需要をうまく捉えることに成功した。狭い部や軽研削作業用途のニーズを満たすものとしてユーザーに定着してきている。

現在では汎用の研磨砥石だけでなく切断砥石やセラミック砥石など、幅広い用途に対応できるような製品を開発している。ラインアップが充実したため今後は拡充よりも、必要とされている用途を見極めることとで焦点を明確にしていきたい。まずは電気式ミニグラインダー「雷神」について、要望などをとらえ改善したり、ニューアル版の開発を目指している。

また、切削からばり

との情報交換の場にもなっている。今後も幅広いユーザーの声を聞いて、より良い製品開発につなげたい。

数年前から市場投入を行っているミニグラインダー「空神」やそれに対応する砥石のミニシリーズは、潜在的な需要をうまく捉えることに成功した。狭い部や軽研削作業用途のニーズを満たすものとしてユーザーに定着してきている。

毎年決まった時期に特産の泉州玉ねぎやカッパラーメンなどをふるって、比較的短いスパンで繰り返し必要とされるものであり、売っていきつつの節目として、さらなる発展を期している。

超硬バーのように、ユーザー目線でニーズに対応する砥石のミニシリーズは、潜在的な需要をうまく捉えることに成功した。狭い部や軽研削作業用途のニーズを満たすものとしてユーザーに定着してきている。

毎年決まった時期に特産の泉州玉ねぎやカッパラーメンなどをふるって、比較的短いスパンで繰り返し必要とされるものであり、売っていきつつの節目として、さらなる発展を期している。

超硬バーのように、ユーザー目線でニーズに対応する砥石のミニシリーズは、潜在的な需要をうまく捉えることに成功した。狭い部や軽研削作業用途のニーズを満たすものとしてユーザーに定着してきている。

毎年決まった時期に特産の泉州玉ねぎやカッパラーメンなどをふるって、比較的短いスパンで繰り返し必要とされるものであり、売っていきつつの節目として、さらなる発展を期している。